

## 4. Safety Answer の活用例、利用分野（4）

### モバイル端末からの情報漏えい対策として

個人が所有する携帯情報端末を会社で利用するケースが多くなっています。もしも端末を紛失してしまったり盗難にあった場合には、顧客のメールアドレスが盗み取られてしまう恐れがあります。リモートで端末のデータを削除しても、一度盗みとられたメールアドレスは救済する手段がありません。得意先に対する信用も失墜してしまいます。

**Safety Answer** を利用して、個人の情報端末へメールを転送する際にアドレスの非通知設定をしておけば、もしも情報端末を紛失してもメールアドレスが漏えいすることはありません。また、転送規制と返信規制を設定すれば、紛失した端末への配信は停止し、顧客への返信もできなくなります。そして最終的には転送情報を削除すれば、盗み見られたメールアドレスは全て無効になります。

